



三重県の北の玄関口に位置する「いなべ市」は、北に養老山地、西に鈴鹿山脈が走り、中央を流れる員弁川を挟んで田園地帯が広がる緑豊かなまちです。山々が生み出す清流は、豊かな土壌を育み、三重県生産量1位のそばをはじめ、良質なお米やお茶の産地として知られています。

全国住みよさランキングで県内上位に位置するいなべ市。あなたも素晴らしい環境のもと、いなべ市で充実した人生を送りませんか。

「いなべ」はこんなイトコロ

◆アクセスの良さ

いなべ市の道路環境は太平洋側と日本海側をつなぐように、南北に通じる国道306号・365号に加え、2011年に石柵トンネル(国道421号)が開通したことで、滋賀県側からの往来も増え、新たな人の流れが生まれました。現在、東海環状自動車道の工事も進められており、2025年には市内2つ目のインターチェンジが開通するなど、更なる飛躍が期待されています。名古屋圏へは車で1時間、関西圏へは車で2時間と日本の中央に位置しているから可能な立地と交通アクセスの発達でとても利便性の高いエリアです。

公共交通機関は、市内13路線を福祉バス(運賃無料)が循環し、民間バス1路線、鉄道では、三岐線と北勢線が運行しています。

◆にぎわいの森

「にぎわいの森」は、地元の食材を使った飲食店や食品雑貨のお店が集まる場所です。おしゃれで、環境に優しい取り組みをしているため、都市部からたくさんの方が訪れています。県内外から人気の高いお店も参加しており、地域と行政が協力して、この場所を盛り上げています。ここは地域の自然や環境を活かし、気軽に楽しめるまちづくりの中心地としても活用され、新しい流行を生み出しています。

これからは、緑を活かした仕組みをさらに発展させる予定です。たとえば、森の整備や自然を活かしたイベントの開催に力を入れていきます。



◆新たな価値を創造するまちづくり



歴史とトレンドが調和する北勢町の阿下喜地区では、ここ数年の間に移住してきた人が空き家を活用して新しいお店を始めることが増えています。かつてはシャッター街化が進んでいた阿下喜の商店街も今では個性豊かなショップが並び、いろいろな感性が混ざったエリアとして進化を続けています。

◆四季の美しさが映える観光スポット

東海地区最大級の規模である約100種類4,000本の梅の木が咲き誇る梅林公園や1,000年前の庭園が残っている鳴谷山聖宝寺の紅葉など、いなべには色鮮やかな四季を感じられる場所がたくさんあります。



◆豊かな土壌、綺麗な水と空気に育まれた特産品



柔らかくて上質な脂身を持つブランド豚「さくらポーク」や竜ヶ岳の麓で100年以上生産され続けている「石柵茶」、三重県内1位の作付面積を誇る「そば」がいなべ市の特産品です。



◆美しい自然、心落ち着く田舎の原風景

花の百名山「藤原岳」、伊勢湾までの眺望が素晴らしい「竜ヶ岳」、滝巡りの「宇賀溪」、清流きらめく「青川峡キャンプパーク」などがアウトドアファンに人気です。近年では豊富な自然や快適な道路環境が評価されて国際自転車ロードレース「ツアー・オブ・ジャパン」も開催されて多くのサイクリストが訪れます。また、いなべ市の豊かな自然には、希少種を含む多くの野生動植物が生息しており、訪れる人を楽しませてくれます。

◆子育てしやすい安心の環境



いなべ市の子育て支援の取り組みは数多くのメディアや様々な団体から高い評価をいただいており、全国住みよさランキング県内上位に選ばれる理由の一つになっています。自然環境の良さに加え、きめ細かいフォローと手厚い行政体制が、市民の満足と安心に繋がっています。

いなべで子育てしよう



豊かな自然に囲まれた、安心の環境で子育てしてみませんか。

いなべ市は、いなべ市子ども・子育て支援事業計画を策定し、子育て支援をいなべ市の最重要課題と位置づけています。これまで、地域での子どもや子育て家庭を包括的に支援する、新しい支え合いの仕組み作りに積極的に取り組んできました。

今後も、いなべ市に住んでよかったと思えるような、子どもを安心して生み育てられる、人々との支えあい・助け合いの精神が大切にされる、心豊かなまちづくりを目指して様々な子育て支援サービスの充実を図っていきます。

主な子育て支援の紹介

母子健康手帳交付時の保健師の面談から始まって、妊娠期・出産・子育て期までよりそって支援します。お子さんの発育・発達、子育ての悩み、予防接種などについて、保健師・栄養士が随時相談をお受けします。また、いなべ市に転入された3歳6か月までのお子さんは地区担当の保健師が家庭訪問させていただきます。



●もうすぐママパパ教室

妊娠8か月ころの全妊婦さんとそのご家族が対象の教室。助産師のお話、妊娠中・産後に利用できるサービスのご案内、保健師との個別面談に加え、沐浴体験やパパの妊婦ジャケット体験ができます。

●こんにちは赤ちゃん訪問

生後4か月未満の赤ちゃんがいるすべてのご家庭を保健師が訪問し、身体計測や発達の確認をします。困りごとがあったら何でも相談してくださいね。



お庭でも遊べるよ♪

●子育て支援センター

市内には保育士が常駐する5つの子育て支援センターがあり、就園前のお子さんと保護者が気軽に遊べます。季節ごとのイベントや、生後6か月の全てのお子さんを対象にしたブックスタート事業、1歳おめでとう訪問などを行っています。



これはほんの一部ベビ。
他にも離乳食教室や2歳児歯科教室、育児相談(毎週水曜日)などを行っているベビ。妊娠から子育て期まで、ずっと応援しているベビ!

お問い合わせ いなべ市役所 母子保健課 0594-86-7770

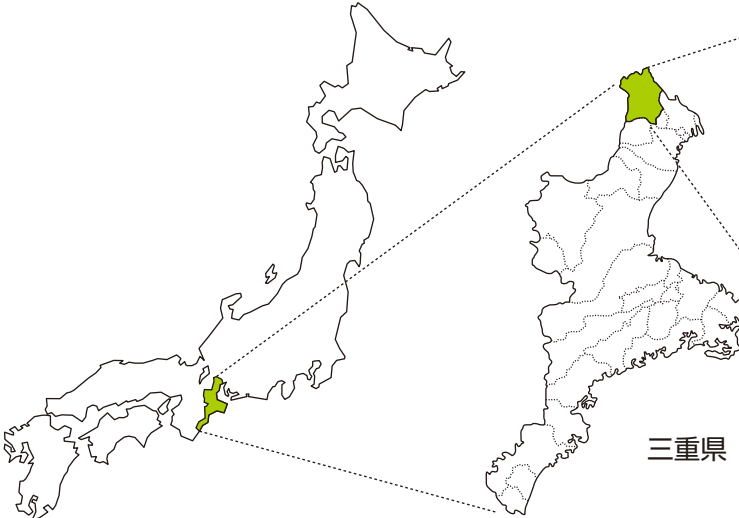
いなべ市ってどんな場所？

三重県の最北に位置する「いなべ市」は、養老山地と鈴鹿山脈に囲まれた自然豊かなまちです。多くの動植物が生息しており、天然記念物に指定されている希少種も生息しています。

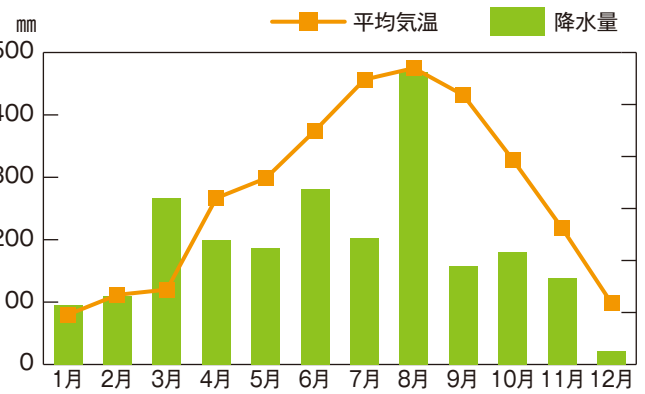
気候は太平洋側気候で一年をとおして、温和ですが、夏は南東からの季節風、冬は日本海側から山越しに流れてくる風によって四季折々の自然の景色を楽しむことができます。



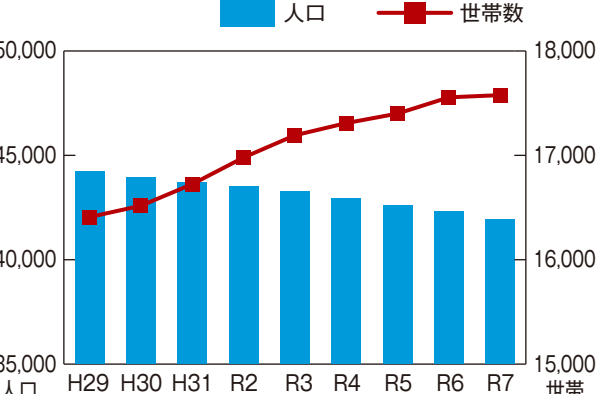
■いなべ市の位置関係



■月平均気温・降水量（令和6年）



■人口・世帯の推移



。。。いなべに移住するには。。。

移住はしたいけれど、何からすればいいの？どこに相談すればいいの？とお悩みの方に、移住までの流れをご紹介します。



① まずは、いなべを知ろう

▶ いなべ市の窓口にお問い合わせる

いなべ市役所 住宅課 三重県いなべ市北勢町阿下喜31番地
電話 0594-86-7809 ファックス 0594-86-7870 ※土日祝日は休み
ご相談は年間を通じて受け付けているため、知りたい事や分からない事は気軽に問い合わせてみましょう。

② 下見に行こう

収集した情報をもとに現地に行ってみましょう。いなべ市内でも地域によって雰囲気異なります。移住後の生活を具体的にイメージして、どのような環境があらかじめ確認しましょう。

③ 家を探そう

▶ 空き家バンクを利用する

いなべ市では、市内の空き家物件の賃貸・販売情報を「空き家バンク」に登録し、豊富な物件から移住を考えている方にあった物件を探せるよう情報発信しています。「実際の空き家が見たい」「詳しい情報がほしい」など気軽に問い合わせてみましょう。



▲ 空き家・空き地バンク制度登録物件一覧

④ 仕事を探そう

移住後に仕事をする場合には、ハローワークで仕事を探しましょう。どのような仕事があるのか、賃金の相場などを事前に確認しておきましょう。また、おおむね60歳以上の方であればシルバー人材センターの登録ができます。

ハローワーク桑名……………桑名市桑栄町1-2 サンファール北館1階 0594-22-5141
いなべ市シルバー人材センター…いなべ市員弁町笠田新田111 0594-84-1800

● いなべ市木造住宅耐震支援制度

耐震診断を無料で受けていただけます。また、補強設計費用や補強工事・リフォーム工事費用に対して補助金もあります。



- 無料耐震診断 昭和56年5月以前の木造住宅を対象に無料で耐震診断を実施します。
- 木造住宅耐震補強設計補助 一定の要件を満たす補強設計に対して、最高18万円を補助します。
- 木造住宅耐震補強工事補助 一定の要件を満たす補強工事に対して最高115万円を補助します。

➡ 追加補助 リフォーム工事補助

木造住宅耐震補強工事と同時に行う場合、リフォーム工事費に対して最高20万円まで補助します。



▲ 木造住宅耐震補強等事業費補助制度について

※掲載している支援は2025年3月現在の制度です。



三重県いなべ市 移住・定住ガイド



緑の山々、広がる田園、四季を感じる癒しのまち
いなべでゆったり 田舎生活を送ってみませんか

